

つつじが丘小学校 外部連携推進プラン

【中期学校経営方針「保護者・地域住民との連携」達成目標】

- ◎地域コーディネーターとの連携により地域情報センターをより充実させ、外部人材の活用や教育環境整備等を進めます。
- ◎様々な人とのコミュニケーションをとおして、地域や社会への視野を広げます。環境保全や国際理解などの今日的な課題に関心を持ち、自分にできることを実践しようとする心や態度を育てます。

「保護者・地域住民との連携」に関する指導の目標・方針

- ・地域コーディネーター会議を中心に、コーディネーターとの連携を密にすることで、学校・地域・サポータークラブの情報を共有しながら、地域情報センターのさらに活性化し、子どもたちの学びの充実を図る。

地域情報センターの構築

① 学習環境の充実→学びの活性化

- ・学校のサポーター活動を通して、子どもたちの学びの環境や教育をより充実させると同時に、活動に携わっていただいている保護者・地域の方々同士のコミュニケーションを図る。
図書館サポーター グリーンサポーター
おはなしポケット(朝読み聞かせ)
書道サポーター パソコンサポーター
ジュニアスポーツサポーター
クラブサポーター(家庭科サポーター含む)

③ 子どもの居場所づくり

- ・放課後や学校休業日にも、子どもたちが学んだり友だちとふれ合ったりする場を作る。(放課後キッズ・土曜学校)

② 地域コミュニティ形成の拠点

- ・地域のサークル活動と楽しい交流の場を作る。(パソコン教室、わくわく列車ミニコンサートなど)
・学校の間を提供し、地域コミュニティづくりの一環である地域交流のイベントを後援する。(ワイワイサタデー・わくわく列車)

④ 地域の情報や知を終結した地域の情報拠点

- ・地域のお知らせや情報を集めて発信する。(情報宝箱ステーションなど)
・地域、保護者の方々のボランティア等の情報を集約して、児童の活動や地域活動に役立つ人材バンクを作る。

今年度の具体的な取組

～子どもたちの学びや生活の充実～

- 地域の人材を活用した単元開発を図り、子どもたちの学習意欲の向上につなげる。
 - ・地域コーディネーターと連携して、地域人材や学部講師を積極的に活用することで、子どもたちの興味や関心を高めて学習意欲へとつなげる。
- 様々な人とのかかわりを通して、子どもたちの関心が地域や社会へと広がるようにする。
 - ・地域の方々とのかかわりを通して、地域の活動の様子を知ったり思いに気づいたりして、地域の一員としての意識を高める。
 - ・外部講師による授業などを通して、今日的課題に関心を持ち、自分にできることを考えて積極的に取り組もうとする心情を育てる。
- サポーターとのかかわりを通して、環境意識を高めたり国際感覚を養ったりする。
 - ・グリーンサポーターやワールドサポーターなど

～地域情報センターの充実～

- 地域コーディネーターとの連携による、各活動の活性化を図る。
 - ・地域コーディネーターの月一回の外部連携部会議への参加。
 - ・コーディネーター会議での、学校と地域・保護者との情報交換。
- お互いの活動や取組を理解し協力し合えるようなサポーター活動の展開を図る。
 - ・年2回程度のサポーター懇親会。
- 保護者や地域の方々の理解が深まるように、広報活動を工夫する。
 - ・サポーターガイドブック(仮)の作成と、全保護者・地域への配布。
 - ・学校だよりやホームページでの情報公開。